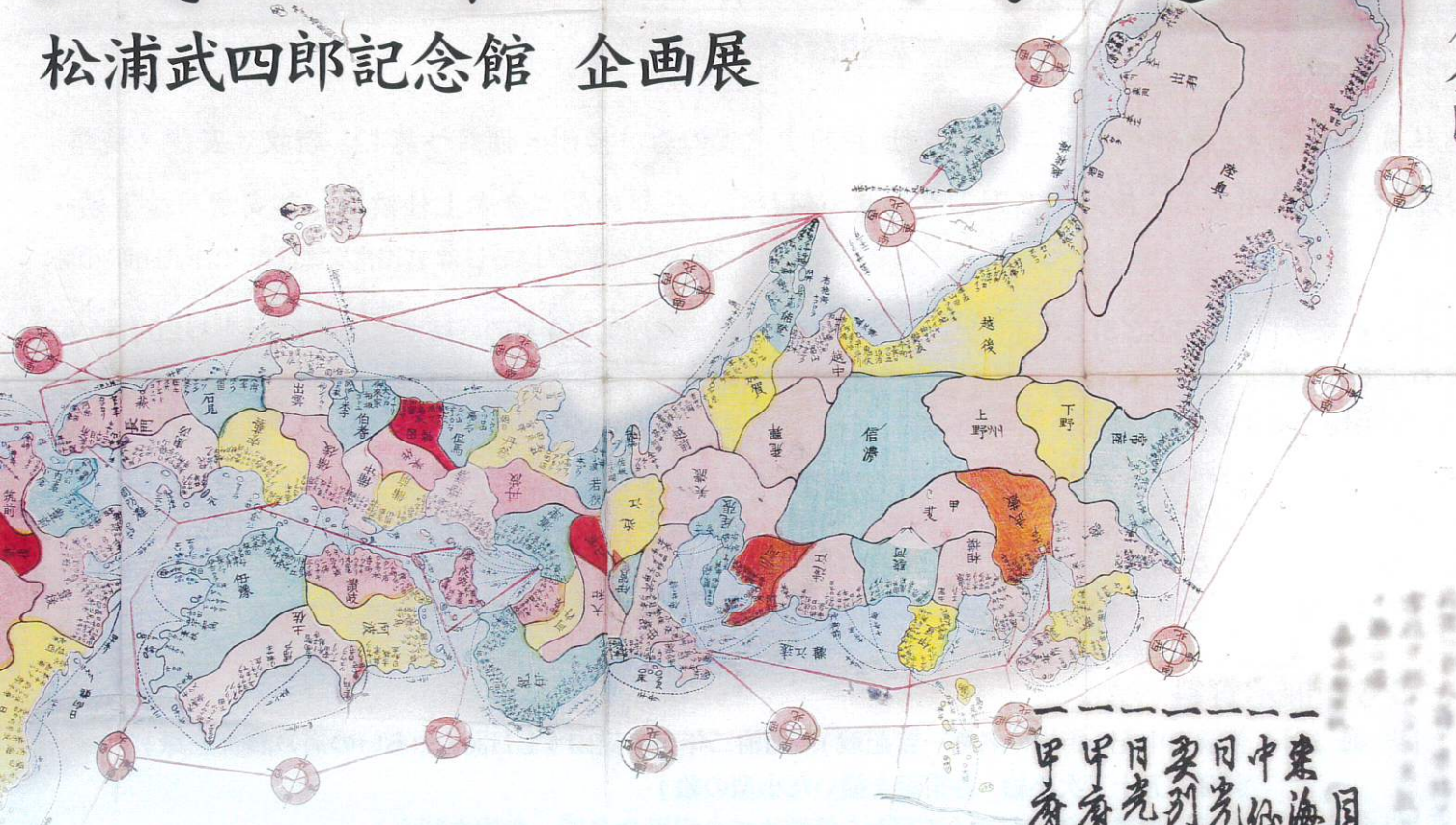


武四郎と五街道

松浦武四郎記念館 企画展

大日本海岸全圖



目深
東海道
中仙道
日光在中
要列松平屋敷
日光ある中
甲府同刻
甲府今个
松平屋敷

令和5年(2023)

7.28(金) ▶ 9.24(日)

毎月第2日曜日に好評開催中!

★武四郎講座 参加費 110円(資料代)

※入館料をお支払いの方は無料です。

第180回 8月13日(日) 午前10時~11時
「武四郎と五街道」 講師:佐藤 圭祐(当館 学芸員)

第181回 9月10日(日) 午前10時~11時
「武四郎の旅の資金」 講師:山本 命(当館 館長)

各回 定員は
先着50人、
申込不要です



講座終了後に
展示解説を
実施します
(入館料要)

体験イベント 浮世絵刷りを体験しよう

東海道五十三次のひとつ、庄野宿(三重県鈴鹿市)の浮世絵を、色を重ねて刷る浮世絵版画の技法で作ってみませんか。

開催日時 8月6日(日)10:00~11:30

対象 小学生以上

定員 20人程度
(申込必要、応募多数の場合は抽選)

参加費 無料

申込方法 7月11日(火)から
17日(月・祝)までの期間に
お電話か、二次元コードから
お申込みください。



協力:三重県総合博物館



完成見本(下)

松浦武四郎記念館

〒515-2109 三重県松阪市小野江町383
☎0598-56-6847

松浦武四郎記念館

検索





武四郎と五街道

武四郎まつり マスコット
キャラクター たけちゃん

私義出国之砌、京都より大坂ニ而越年仕候間十八歳の春、播州・備前へ越し、讃岐・安波・淡路
お罷渡し、紀州若山・熊野・高野山へ登り…何れ武、三年の間二者参上仕候間、御安意可被下候…
(天保4年2月26日付 窪田常次郎他宛 松浦武四郎書簡)

上の文は、天保4年(1833)に実家の兄佐七などに宛てた松浦武四郎の手紙の一節です。武四郎は当時20代前半。これまで北は関東、南は九州まで、日本列島各地を旅してきたことについて触れながら、今は出家して文桂という僧名で肥前国(現在の長崎県など)の平戸にあるお寺に落ち着いている、今後2、3年のうちに実家(伊勢国)に帰るからどうか私のことは心配しないでください、という内容です。

松浦武四郎は生涯を旅に生きました。この展示では、旅好きの武四郎もたびたび歩いた、江戸時代の主要幹線道路である「五街道」などに関する、変わり種の資料を紹介します(明治時代の資料も一部展示)。

武四郎の旅と著述活動、蒐集活動を疑似体験してください。 背景の画像 明治二年東海道山すし日記

おもな展示資料

- 【東海道】 諸国道中記(街道の名称一覧記載)、明治二年東海道山すし日記(山あいの道の調査記録)、東海道五十三次小絵(各宿場を描いた小型の絵)
- 【日光道中】 新板箱館道中名所双六(江戸から箱館までの宿場や名所・名物を紹介)
- 【奥州道中・街道】 奥州名山図譜(出羽三山など東北の山の絵)、陸奥歌枕名寄(東北地方の歌枕など)
- 【中山道】 人馬賃銭帳(「中津川」など)
- 【甲州道中】 追触(差出：徴士松浦武四郎(印)、宛所：従甲府甲州街道宿々役人中)

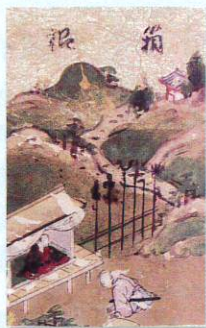
その他に、大日本海岸全図(チラシ表面)や、伊勢路・下田路・中国路・長崎路などといった脇往還(脇街道とも)に関する資料を展示します。



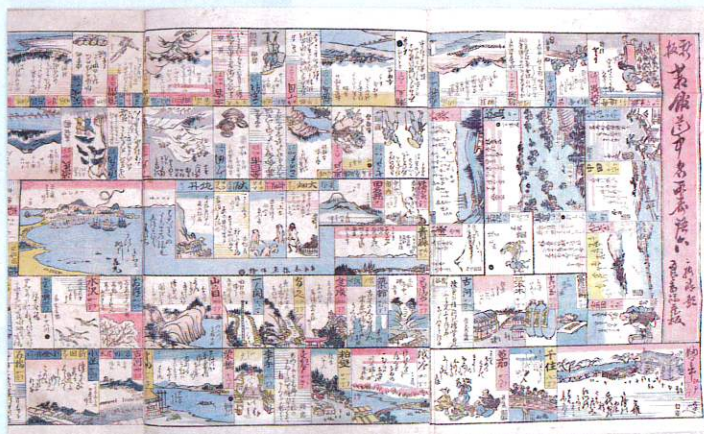
明治二年東海道山すし日記



人馬賃銭帳 中山道 中津川



東海道五十三次小絵「箱根」



新板箱館道中名所寿語六 ※展示資料は全て松浦武四郎記念館所蔵

利用案内

開館時間: 午前9時00分から午後4時30分まで
休館日: 毎週月曜日、9月18日(月・祝)は開館し9月19日(火)休館
※(本企画展の会期中以外)月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日を休館。ほか展示替え期間を休館。詳しくは松浦武四郎記念館公式HP(<https://takeshiro.net/>)にてご確認ください。
入館料: 一般360円[230円]、6歳以上18歳以下230円[120円]
※【 】内は20名以上の団体料金 ※就学前の子どもは無料

交通案内

- 電車・バスで
 - ▶近鉄 伊勢中川駅東口からタクシーで約7分
 - ▶近鉄 平日のみ 伊勢中川駅東口から三雲地域コミュニティバス「たけちゃんハートバス」(10人乗り)を運行、松浦武四郎記念館下車 など
- お車で ※無料駐車場完備(50台まで駐車可能)
 - ▶伊勢自動車道 一志嬉野ICまたは久居ICからそれぞれ車で約15分
 - ▶国道23号 小野江町交差点を西へ約1km

案内地図

